

えどがわ 区議会 だより

令和4年第1回定例会号

発行
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和4年第1回定例会 令和4年度各会計予算案を可決



予算特別委員会の様子

令和4年第1回定例会は2月17日から3月25日までの37日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、令和4年度各会計予算案を含む52件の議案、同意2件、報告3件が提出されました。各会計予算案については、予算特別委員会を設置し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審査を行いました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則」を含む6件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、全会一致で可決されました。意見書は、関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、6月頃にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

議員から提出された議案

— 意見書は関係機関に送りました —



- 江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則
- 江戸川区議会委員会条例の一部を改正する条例
- ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議
- 江戸川区インターネット健全利用促進条例
- デフリンピック東京開催を求める意見書
〔東京都知事 あて〕

詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

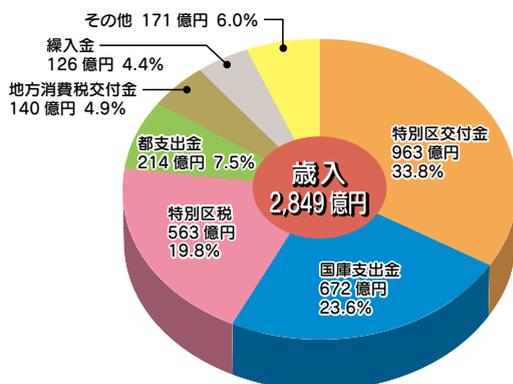
予算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | |
|----------|--------|--------|
| ◎ 早川 和江 | 神尾てるあき | 笹本ひさし |
| ○ 川瀬やすのり | 岩田まさかず | 関根まみ子 |
| 小林あすか | 間宮 由美 | 高木ひでたか |
| 本西みつえ | 所たかひろ | 小俣のり子 |
| 伊藤ひとみ | 中山たかひと | セバタ 勇 |
| しかくら勇 | 大橋美枝子 | 中道たかし |
| 白井正三郎 | 金井しげる | 川口としお |
| 牧野けんじ | ます 秀行 | 須賀 精二 |

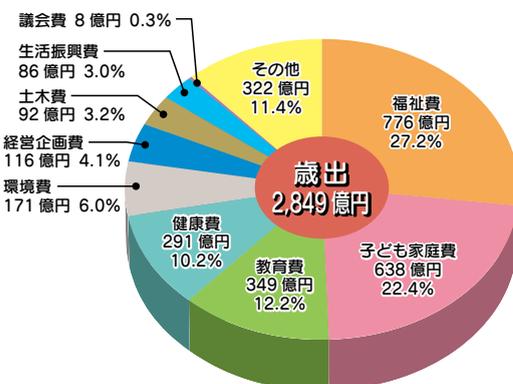
委員定数 18 人 (委員の途中交代あり)

令和4年度当初予算の概要

区分	4年度	3年度	増減率
一般会計	2,849億4,095万8千円	2,777億6,080万5千円	2.6%
国民健康保険事業特別会計	607億4,118万円	603億4,309万1千円	0.7%
介護保険事業特別会計	500億1,484万1千円	487億9,062万7千円	2.5%
後期高齢者医療特別会計	148億592万4千円	138億5,842万9千円	6.8%
合計	4,105億290万3千円	4,007億5,295万2千円	2.4%



一般会計予算の内訳



区政への質問

2月22日、24日に代表質問及び一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

「共生社会」実現の為、「国際交流センター」の設置を。



自由民主党
高木 ひでたか



問 斉藤区政1期目の最後の1年となる予算編成に込めた区長の思いを。

答 4つの重点施策のもと、全区的なSDGsの推進と「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」を実現し、区民の皆様が将来に夢を持てるまちとなるよう編成した。

問 共生社会ビジョンに込める区長の思いと、その中に示す斉藤区政の将来展望について。

答 手に取りやすく、幅広い世代が親しみの持てるストーリー仕立てにしたい。そして、将来直面する諸課題に挑戦し、誰もが安心して暮らせるまちをつかっていきたい。

問 SDGs達成に向けた意気込みと令和4年度の具体的な方向性について。

答 新年度は、区民の皆様への行動に繋がる施策を、全庁を挙げて展開していきたい。

問 「国際交流センター」のような、世界に誇れる共生社会を推進する施設が必要と考えるが、



国際交流センターについて

答 「ともに生きるまち」を実現していくためにも、交流の拠点として設置を検討していく。

問 「ひきこもり」対策について。

①ひきこもり相談窓口の設置状況、支援対象者の実態やニーズの把握状況について。

②ライフサイクルに沿った支援に取り組むべき。
③自粛生活が長引く中で、把握の強化や対面によらない相談・支援方法の検討が必要では。

答 ①令和2年4月にひきこもり施策係を設置した。現在、実態調査を実施している。

②ライフサイクルを意識しつつ、当事者やその家族の歩調に合わせた、細やかで切れ目のない支援を関係機関と連携して実施していく。

③その人に合った選択肢を設けて対応していく。

問 新型コロナウイルス感染症対策について。

①3回目ワクチンの接種状況、接種の具体的な方策、今後の見通しは。

②子どもたちへの安全安心な接種を、どのように実施していくのか。

③ポストコロナへの対応を、どのように展開していくのか。

答 ①現在の接種率は22%である。集団接種会場の拡大、広報えどがわやSNS等による情報発信を続けており、今後も医師会等と連携し、様々な取り組みを進めていく。

②接種券発送時に有効性・安全性や副反応に関する資料等を同封してあるので、お子さんと一緒に検討してもらいたい。

③関係機関との連携を十分に図りながら、全力で取り組んでいく。

問 区制90年を、区としてどのように迎えようと考えているのか。

答 歴史や先人の皆様の努力を分かちあい、区民の皆様への意識に浸透するような取り組みを検討していきたい。

将来ビジョン及び高校3年生までの医療費無償化を!



公明党
竹内 すすむ



問 区政運営への決意と将来ビジョンについて。

答 誰一人取り残すことのないように、幸せを感じられる豊かな地域社会を築いていきたい。

問 令和4年度予算4つの柱への区長の思いを。

答 区民、事業者、本区に関わる全ての人に関心を持ち活動していただくことが重要。その積み重ねにより、ともに生きるまちを実現させたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策について。

①ワクチン接種の状況と今後の推進について。

②自宅療養者や濃厚接触者への更なる支援は。

③コロナ禍による経済活動活性化への取り組みは。

答 ①エッセンシャルワーカーには予約なしの当日接種を検討する。外国人にはコールセンターで通訳会社とも電話が繋がる形になっている。

②医師会と検討し療養・診療体制の強化を進める。

③借換融資制度の新設やDXの推進支援を行う。

問 医療費無償化を高校3年生まで拡充した場合の区の負担額と、都との協議の姿勢について。

答 約5億円程度の負担が増えるの見込んでいます。区長会として対応にあたっていく。

問 気候変動対策の適応策の取り組みについて。

答 今後も様々な施策を実行していきたい。

問 今後の区内産業支援について。

①産業実態アンケートをどう活用するのか。

②中小企業へのDX促進事業について。

③産業・技術の集約の場を設けてはどうか。

答 ①地域経済分析結果と合わせ、今後の産業振興の方向性、施策検討の資料として活用する。

②専門家の支援のもと、それぞれのレベルに合わせた支援メニューで成長を後押ししたい。

③産業界の意見も聞いて支援策を検討していく。

問 医療的ケア児の支援について。

①医療的ケア児コーディネーターの体制強化を。

②区立・私立保育園での受け入れについて。

③看護師配置を含めた就学体制について。



医療的ケア児の支援について

答 ①医療的ケア児コーディネーター養成研修受講者との情報共有等、体制を充実させていく。

②区立保育園には園内医療的ケア安全委員会の設置を、私立保育園には看護師配置の経費を補

助し支援していく。

③保護者、医師、派遣看護師との連携を密にし、安全な受け入れを進めていく。

新設産業経済部に期待! 実態調査は詳細に。



江戸川クラブ
ます 秀行



問 院内感染を防ぐためにも、特に小規模診療現場での感染症対策について、確認や指導を今以上に徹底すべきと考える。クリニックのような小規模医療機関における感染症対策について、区の見解は。

答 院内の感染対策状況を1年に一度調査している。また、院内感染対策の徹底について、医師会への注意喚起を行う予定である。

問 人口減少社会について問う。

①人口減少という行政課題に向き合う際には、これまでの見方に限ることなく、柔軟性を持った捉え方を。

②将来の人口減少による様々な課題に備える観点からも、可能な限り明確な事務事業撤退戦略を備えておくべきと考えるが。

答 ①人口減少については様々な意見があるが、大切なのは「人と人との関わり」や「地域の繋がり」であり、将来に向かって持続可能な区政運営を行っていききたい。

②令和4年度の予算編成では、新規事業は期限を定めて計上しており、始める前に終わりを決めて取り組んでいる。今後も最小の経費で最大の効果を得る事業を展開していきたい。

問 産業経済部の事業展望を問う。

①区内事業者の実態把握において、信頼できる定量的な一次データを取得し、それを定性的なアンケートで補完することで、より精度の高い調査になると考えるが。

②事業撤退のニーズがある企業に対し、清算や会社譲渡等の法的な解決策を提供し、サポートする事業を提案するが、区の見解は。

答 ①今後もアンケート調査を含め、様々なデータを収集し、マクロとミクロの両面からの調査・分析結果と合わせて実態把握を深めていきたい。

②中小企業診断士による経営相談や専門家の派遣等、撤退のサポート事業は行っている。中小企業相談室の役割を十分に果たせるよう、しっかり周知していきたい。

問 環境変化に応じる事業の未来像について問う。

①書籍の電子化という環境変化の中、本区の図書館の未来像をどのように描いているのか。



本区の図書館の未来像について

②本区の公園の未来について、今後訪れる人口構造の変化にどのように応じていくのか。

③衰退と向き合う商店街を今後どのように支援していくのか。現時点で考えている商店街の未来像について。

④職員の健康を担保する庁舎内の食堂の未来について、区長の見解は。

答 ①本を読む人を増やすためにも、書店等との共存・共栄に繋がる取り組みを進めていくと

いう視点で、公立図書館が担うべき役割を検討していききたい。

②人口減少が見込まれる中でも、「1人当たり10㎡」を目標に掲げ、Park-PFIやネーミングライツ等の手法を導入し、様々な視点から公園の未来像を考えていききたい。

③商店街は地域コミュニティを支える役割も果たしており、地域に欠かせないものである。商店街連合会の意見を聞き、活気ある商店街を目指して、様々な施策を展開していききたい。

④食堂は、職員の福利厚生施設であり、限られた公費の中で工夫をしているつもりだが、今後も検討を進めていききたい。

問 国連や政府によるSDGsの推進力が失速することもあり得るため、企業に対するSDGs推進の取り組みは、慎重に進めていくべき。

答 企業の目標・目的や持続可能性のためにSDGsに取り組んでもらうことで、融資が受けられる等、企業側にも様々なメリットがあり、官民一体となって推進していききたい。

問 住宅条例の改正に向けた駐車場の利用実態調査結果を受け、見直しの内容と実施時期について、現段階での区の見通しを。

答 住戸面積の小規模な賃貸共同住宅の駐車場整備基準を緩和する。今後、3月に業界団体へ説明を行い、4月から施行していききたい。

無料PCR検査拡充・国保料引き下げ・墨東病院守れ



日本共産党
小俣 のり子



問 新型コロナウイルス感染症対策について。

①自宅療養者の実態把握と医療機関に繋がらない問題への対応について。また、健康観察の対応に区内医療関係者の協力を求めている。

②高齢者施設でのワクチン接種の進捗は。エッセンシャルワーカーや希望者への接種の促進を。



高齢者施設でのワクチン接種について

③都や区の事業を活用し教職員への抜本的な検査拡充を。また、保育施設等の休園の判断は。区内検査会場の分かりやすい広報や、都の無料化事業を活用した大規模検査会場を設置しては。

④「小学校休業等対応助成金制度」の活用について、周知と立替払い等検討しては。また、ボーダーラインの課税世帯に区独自給付を。

答 ①実態把握は全件行っている。診療検査実施機関の拡大や電話診療を取り入れ、診療体制を構築していききたい。医療関係者の健康観察の協力については、薬剤師会と協議中である。

②高齢者施設では3月中旬に接種が99%完了する予定である。エッセンシャルワーカーには予約なしの当日対応を検討したい。多くの方が接種できるよう、様々な取り組みを進めていく。

③学校に周知と積極的活用を呼びかけている。休園判断は保健所と相談。広く周知できるよう区ホームページを改修しており、会場については複数の事業者からの声もあるため協力したい。

④関係部署を通じ周知する。制度は事業主の協力なくとも申請可のため立替払いは不要。区独自給付は財政状況を見て必要な支援を行いたい。

問 国民健康保険料の引き下げと、子どもの均等割額を軽減すべき。また、国保料の特例減免や傷病手当金の周知と区独自の救済措置を。法定外繰入については今後も行うべきと考えるが。

答 医療費増のため保険料は上がっているが、昨年同様に法定外繰入は増やしている。子どもの均等割額は既に全国知事会、市長会、特別区長会で国に要望している。国保料の特例減免や傷病手当金の区独自拡大は考えていないが、制度の周知は工夫したい。法定外繰入については増やしているのご理解いただきたい。

問 都立墨東病院の独立行政法人化に反対を。

答 区民に影響がある場合は意見をしていく。

一般質問

公共施設の再編と社会的養護を受ける子供への支援を!



自由民主党
栗原 ゆたか



問 本区で考える公共施設再編のあり方とその時期について。また、余儀なく廃止される施設がある一方で、新設される施設もあるが、必要な公共施設の考え方とは。

答 将来世代に負担を残さない再編を検討していききたい。再編の時期については、主要な公共施設の更新に合わせて、周辺の公共施設を含めて検討していく。また、必要な公共施設の考え方については、民間との役割分担も含め、様々な視点で検討しており、(仮称)公共施設再編・整備計画の中で示していききたい。

問 区内の介護事業所に対し、BCP策定をより一層啓発していくべきでは。また、介護人材確保に向けた取り組みを進めていくべきと考えるが。

答 非常時における備えは大切であり、今後も早期のBCP策定率の向上を目指していく。また、人材確保については、国が処遇改善を進めており、区でも資格取得支援や宿舍借り上げ支援等を実施している。今後も人材確保に向け、効果的な施策を展開していききたい。

問 本区では、令和4年度に庁舎付近に二酸化炭素排出量を測定する装置を設置し、ホームページで二酸化炭素濃度を公表する等、見える化を進める動きがある。こうした取り組みに加え、個人の二酸化炭素削減の見える化を進めていくことについて、区長の考えは。

答 具体的な削減方法を示し、それをSDGsポイントアプリへ組み込む等、様々な施策を通じて、個人の二酸化炭素削減の見える化を進めていききたい。

問 社会的養護を受ける子どもたちが、施設等の退所後に生活苦に陥らないよう、支援を拡充していくべきと考えるが。また、児童相談所内のチームワークや職員の専門性の確保等の課題に対し、どのように対応していくのか。

答 今年度は、退所後支援担当の職員を配置し、状況に応じた支援を行っている。令和4年度からは、自立支援コーディネーターを配置し、支援の拡充を図っていく予定である。また、援助方針会議や実習体験を通してチームワークの向上を図っており、引き続きOJTやOFF-JTを通して人材育成に力を注ぎ、より良い支援に繋がっていききたい。

支援を要する子ども達へ積極的なアプローチを!!



公明党
関根 まみ子



問 発達障がいの子の支援について。

①篠崎児童発達支援センターの使命と役割、開設の意義について、区長の考えは。

②将来的に可能となることから、育成室を児童発達支援センターに発展させてはどうか。

③発達障がいのある子どもを持つ親への支援を専門的に行っていくことが重要と考えるが。

④発達障がい児の事例のデータベース化の目的と進め方について、教育長の考えは。

答 ①育成室の機能に加え、相談支援や地域支援等の役割を担っていく。発達相談・支援センターと互いの特性を生かし、連携を図っていく。

②課題や利用状況を踏まえて検討していく。

③適切な関わり方を学ぶ支援事業を新たに導入し、児童虐待防止策の更なる充実に努めていく。

④一人ひとりに適した支援を行うため、専門家と協議し、準備を進めていく。

問 保育の質の向上に向けた取り組みについて。

答 「保育の質ガイドライン」を策定し、子どもの健やかな育ちを保育の現場から実現していく。

問 農福連携・水耕栽培への取り組みについて。

答 新しい農業のあり方の一つであり、引き続き水耕栽培の持つ可能性について研究していく。

問 教育現場の働き方改革について。

①教育現場の働き方改革を更に進めるべき。

②スクールサポートスタッフの更なる充実、出退勤管理のシステム改善、給食費の公会計化システムの導入への今後の見通しについて。

答 ①引き続き取り組みを進めていく。

②更なる効果的な活用に向け取り組んでいく。

問 不登校対策について。

①不登校の初期段階における子どもたちへの関わりについて、教育長の考えは。

②別室登校支援を充実させていくべき。

③学校サポート教室の更なる充実と共有プラザのユースサポートとの連携について。

答 ①タブレット端末による授業配信等、今後も良い事例を広く学校に周知し、取り組んでいく。

②様々な事例を共有し、充実を図っていききたい。

③今後も自立に向けた適切な支援ができるよう、庁内連携をしっかりと図っていききたい。

ジェンダー平等、生活保護の周知、スーパー堤防問題



日本共産党
牧野 けんじ



問 ジェンダー平等の実現について。

①「江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会づくり条例」(案)と現行計画の関係等について。

②「LGBTQ」に関する法律相談の課題を把握し、案内チラシ等を活用して周知の強化を。

③アンコンシャス・バイアスについて、課題をどう認識しているか。今後、啓発や意識調査を。

答 ①現行の男女共同参画推進計画は、条例による推進計画とみなし、令和8年度まで継続する。推進会議の委員は12名の方をお願いし、年2回程度開催する予定である。

②「弁護士による法律相談」や「大人のなんでも相談」で様々な相談に丁寧に対応している。引き

続き様々な手法を駆使して周知していく。

③人それぞれの選択肢を狭め、生きづらさの要因となっている。今後、更に啓発を進めていく。

問 生活保護制度の周知について。

①制度に対する誤解や偏見、忌避感の解消のため、ポスターやSNS等による周知を。

②「扶養照会」について、「扶養は保護の要件ではないこと」等の分かりやすい明示を。

答 ①様々な手段を活用し周知していく。

②区ホームページ上の保護のしおり等で、扶養は保護の要件ではない旨を明示している。

問 スーパー堤防と一体の上篠崎一丁目北部土地区画整理事業について。

①土地区画整理事業の第一次移転先における地盤強度不足について、区の責任は。

②都立篠崎公園高台化準備工事について、区や住民への影響は。また、説明会等の実施を。

③篠崎地区の高台まちづくりについて、高規格堤防と土地区画整理事業の一体実施という従来の手法を前提にした検討はやめるべき。

答 ①地盤の再改良及び造成工事を完成させ、安心して建築していただくのが責務である。今後、国とともに原因究明を行っていく。

②周辺環境等への影響を最小限とするよう調整していく。また、地域への説明は、国・都・区で連携し、適切な時期に実施していく。

③一体的な高台まちづくりが必要であり、引き続き国や都と事業手法等の検討を進めていく。

太陽光発電、プラ新法、水素エネルギーと消費者教育



生活者ネットワーク
伊藤 ひとみ

問 太陽光発電設備設置家屋調査の実施と（仮称）災害時の給電サポーター登録について。

答 都の現況調査を参考にしたい。サポーターについてはメリット・デメリットの両面を研究する。

問 プラスチック回収事業を今後どう進めるか。

答 回収体制構築や試験回収を踏まえ実施する。

問 発電効率の悪い水素エネルギーへの考えは。

答 脱炭素社会に向けベストミックスを目指す。

問 若者向け消費者教育意識啓発の現状と防止策や学校での専門家による消費者教育について。

答 出前講座の実施やSNS等の活用をしている。学校では発達段階に応じて学んでおり、外部機関の活用は学校長の判断により行う。

ボランティアのポイント制度導入



えどがわ区民の会
金井 しげる

問 「みどりのボランティア」の更なる周知と今後の展望、ポイント制の導入について。

答 引き続き多くの方々に参加を呼びかけ、本区の誇る緑豊かな環境を守り育てていきたい。ポイント制については、研究していきたい。

問 これからの公園整備について。

答 だれもが笑顔になれる公園を目指していく。

問 中学校での心肺蘇生法やAEDの教育、教職員への研修や訓練の実施について。また、消防署や地元消防団との関わりについて。

答 保健体育の授業等で学習しており、教職員には普通救命講習を実施している。消防署や消

防団の協力を得て実施する訓練もある。

再犯防止は被害者を無くす事。計画策定で命を守る。



無所属
間宮 由美

問 再犯防止施策について。

①「再犯防止計画」策定に向けた、本区の状況は、区独自の計画が必要と考える。

②本区における犯罪の状況を、どのように分析しているか。

③再犯防止に向けて、何が必要と考えるか。

答 ①全庁を挙げて課題に対応していく中で、区独自の計画について検討したい。

②再犯防止は被害者減少にも繋がるという点に着目し、引き続き対策していく必要がある。

③孤立しないための支援が必要と考えている。

子どもへの体罰は禁止 子どもの権利を守ろう



無所属
滝沢 やすこ

問 体罰禁止の区民認知度を100%に。

答 保護者には個別具体的に周知啓発を図り、2030年のビジョンにも盛り込んでいきたい。

問 地域で子どもを指導する方々に対し、子どもの権利への理解を深める取り組みを。

答 様々な機会を捉えて普及・啓発を進める。

問 各学校のウェブサイト等で校則の公開を。

答 各学校で検討してもらいたい。

問 校則づくりにおける子どもの参画を。

答 各学校において、児童・生徒が自覚と責任を持って、自ら考える場が設けられている。

共生社会に向けて行政の取り組み、街作り、子育て支援



自由民主党
須賀 精二

問 本区では「行政は経営である」という理念が脈々と受け継がれてきた。この理念に基づき、何もかも行政で取り組むのではなく、地域と一緒に取り組むでは。

答 本区が目指す「ともに生きるまち」の実現に向けては、地域に関わる様々な方との協働は欠かせない。地域の課題に対し、区民の皆様にも主体的に取り組んでもらえるよう、区として調整力を発揮しながら、取り組みを展開させていきたい。

問 東部地区の新たなまちづくりについて。

①本区の共生社会のシンボルとして、建て替え後の清掃工場の煙突のデザインを工場近くの児童・生徒から募集してみてもは。また、新工場は、近くの災害避難場所等へ電力や熱の供給等ができ、地域の安全・安心に寄与できるような設備として進めてほしい。

②利便性や防災力の向上のためにも、都県橋の早期完成を。

③江戸川水閘門の補強・建て替え工事を機に、一般車両も通行できるよう整備を。また、市川市と連携し、周辺地域の有効活用を。

答 ①新工場の煙突のデザインについて、清掃一部事務組合は、現在のデザインの継承を検討

しているが、提案いただいたアイデアについては、改めて清掃一部事務組合に相談していきたい。災害避難場所等への電力や熱の供給については、清掃一部事務組合とともに様々な角度から今後の課題として研究を進めていく。

②今後、早期完成に向けて事業が円滑に進むよう、東京都・千葉県に強く要望していくとともに、市川市との連携をしっかりと図っていく。

③国は、水閘門の改築の早期事業化に向けて検討・調整を行っている。今後、水閘門の早期改築や周辺地域の有効活用等について、国や市川市と調整を進めていく。

問 少子化進行の背景には日本の法制度を含め様々な理由があるが、それらを解決するために、子育て支援策を一層充実させるべきではないか。国の方針が決まるまで待つのではなく、できることから実施していくべきと考えるが。

答 子どもを安心して産み、育てられるまちを目指してきた。また、今日的な課題に対し、楽しく自分らしく子育てができるよう取り組んでいる。今後も少子化対策に繋がるより良い子育て支援のあり方を探求していきたい。

災害・パンデミック等を見据えた対策の推進を!!



公明党
太田 きみひろ

問 私道排水設備改築助成の助成率拡大を。

答 区民の安全な暮らしを支えるため、より活用しやすい助成制度を目指し検討していく。

問 電子図書館サービスの導入について。

①導入に踏み切った理由と狙いについて。

②今後のサービスの活用と拡充について。

答 ①共生社会の実現を目指し、まず外国語や読み上げ対応の図書等を導入する。
②利用者の需要やサービス内容等を見極めながら、拡大を視野に検討していく。

問 災害（震災）時のトイレ確保について。

①「災害（震災）時トイレ確保・管理計画」の概要と目的、進捗状況と今後の推進について。

②民有地の災害時対応トイレ確保について。

答 ①本計画では、整備の方針と整備目標を示している。改築校の整備は完了しており、既存校の整備については順次進めていく。
②一定規模の建築機会を捉えて、民有地にも積極的に設置の誘導をしていきたい。

問 コロナ禍におけるがん検診の現状と若年がん患者への支援について。

①受診控えの影響と今後の受診率向上について。

②AYA世代のがん患者の支援について。

答 ①受診控えは回復傾向にある。新規事業による効果的な受診率向上に取り組む。
②在宅介護サービス等の費用助成を新規に開始する予定である。また、患者やその家族に寄り添ったきめ細やかな支援も実施していく。

問 今後の清掃事業について。

①今後のパンデミック等に対する方策について。

②江戸川清掃工場の建て替えに際し、不測の事態も想定した対応を検討すべきと考えるが。

③女性作業員の採用も検討すべきと考えるが。

答 ①清掃事務所間での相互応援体制の構築等により、収集・運搬体制を確保していく。
②清掃一部事務組合や清掃協議会と連携し、区民生活に影響が出ないよう努めていく。
③清掃事業の質や住民サービスの向上に繋がると考えており、引き続き募集していきたい。

予算特別委員会

予算特別委員会は、2月28日から3月14日までの間の8日間にわたって鋭意審査が行われました。

3月14日の委員会で、各会派からの意見開陳ののち、表決の結果、令和4年度一般会計予算案と各特別会計予算案は、それぞれ原案のとおり可決しました。なお、委員会に一般会計予算についての修正案が提出されましたが、否決しました。
※本会議の審議結果は7ページをご覧ください。

令和4年度一般会計予算案に対する賛否

賛成	反対
自民・公明・江ク・生ネ・区民・無所属	共産

令和4年度予算に対する各会派の意見・賛否

自由民主党



新年度予算案は、ポストコロナへの対応、SDGsの推進、脱炭素への取り組み、DXの推進を4つの柱とし、全区的にSDGsを推進する取り組みを更に進め、多様な視点から施策を展開するものである。区議会自由民主党は、区民の立場に立った予算であるかを重点に真摯に審査を行った結果、令和4年度一般会計並びに特別会計予算案に賛成する。

【主な要望】

- 預貯金照会の電子化を進めるにあたり、取り扱う職員の守秘義務を厳格に適用すること。
- 議会においても、ICTの更なる利活用を。
- 社会的要請型総合評価一般競争入札について、社会的要請点の配分の見直しを。
- 若年性認知症の対策において、丁寧な経済的基盤の相談や支援を。
- 「地域力・地域総合力」を高めるための施策と、そのための組織の展開を。



「地域力・地域総合力」を高めるための施策について

- 指定管理者制度について、BCPを立てること。
- AIの取り組みやデジタルディバイド対策に更に取り組んでいくこと。
- 新庁舎建設の際には、区内業者が参加できる仕組みの構築を。
- 学校跡地は、地域の実情やニーズを聞き、区の課題解決、魅力創造のために様々な活用を。
- ネーミングライツの導入において、選定委員はしっかり役目を果たすこと。
- コロナ禍でも、非対面での防災訓練等、大きな災害に備えること。
- スピード感を持って、避難所運営協議会の結成を進めていくこと。

- ボランティアセンターと総合人生大学について、あり方や役割の研究・検討を。
- 学校図書館への区立図書館のサテライト事業において、司書等の専門家の有効な活用を。
- 葛西南部地区への共有プラザ新規開設を。
- ラグビーや野球のトップアスリートがプレーできるよう、施設整備を。
- 区内産業経済の実態調査・分析事業を様々な産業振興に活かせるよう、研究・検討を。
- 新設されるコロナ借り換え資金融資について、円滑に借り入れの一本化が進むよう、区内金融機関に協力の要請を。
- 3月末日に期限が到来する新型コロナウイルス感染症対策の幹施融資制度について、受付期間の延長と申請書類の簡素化を。
- ガバメント・クラウドファンディングの活用により、農地の保全・活用を図ること。
- ポイント還元事業の第2弾の実施を。
- 葛西海浜公園西なぎさの「わかめ」と「のり」の養殖の認知度を高め、漁業復活の検討を。
- 今後、ゼロ・エミッション・パーク事業を各地域に拡大すること。
- 遊具類の充実した公園に加え、自然のままの静かな空間である水と緑豊かな公園の整備を。
- 区内のスポーツ施設等の人工芝化について、環境に配慮して推進していくこと。
- ゴミ収集車のICT活用によるデータを活用し、道路の保全・改修等に利用すること。
- 区の健康サービス情報の更なる周知徹底を。
- 区民健診等を活用し、一人ひとりが自分の健康管理に努めるよう、周知・普及啓発を。
- 口腔がん検診について、個別勧奨の推進を。また、希望者が毎年受診できる体制の構築を。
- 自殺対策強化のため、庁内をはじめとする関係機関等とより一層の連携・協力を。
- 骨髄移植のドナー登録の更なる推進を。
- 地域猫の殺処分ゼロを目指し、不妊・去勢手術の助成を今後も推進していくこと。
- 災害時要支援者名簿作成の推進を。
- 障害ある人の親亡き後の生活の場の確保や成年後見人制度の周知と制度の利用普及を。
- 地域社会において、高齢者が輝く居場所が増える、持続可能な社会づくりを。
- 各なごみの家における特長ある活動例を共有し、全てのなごみの家で同様の活動を。
- ひきこもり状態にある方やその家族の交流の場、学習支援の機会、区民への幅広い周知を。
- ベビーセンサーの導入と「保育ママ」制度の堅持を。
- ヤングケアラー対策で、手厚い支援を。
- 「えどがわママパパ応援隊」事業の今後の一層の取り組みを。
- 「農の風景育成地区」指定の更なる周知を。
- 不燃化特区促進事業、密集住宅市街地整備事業、都市防災不燃化促進事業の強力な推進を。
- 地域公共交通計画の実現を。
- 空き家の苦情の相談に対し、途中経過報告等、丁寧に対処すること。
- 民間ビルの屋上を災害時の一時避難所として活用すること。
- スーパー堤防事業の推進を。
- 新中川春江橋架け替え工事の早期着工を。
- 私道の全ての防犯灯のLEDへの交換を。
- 部活動指導員の派遣事業の拡大を。
- 発達障害事例のデータベース化の推進を。
- 下鎌田小学校と下鎌田西小学校の統合では、両校の文化と歴史をしっかりと継承すること。

- 「放課後補習教室」の全校実施とhyper-QUアンケート調査の活用を。
- 民間の力も得て、不登校特例校等と学校の繋がりを強めていくこと。

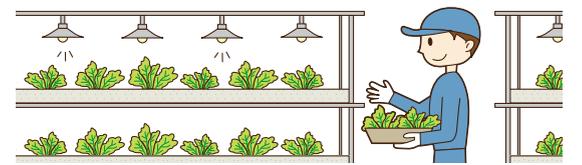
公明党



ポストコロナへの対応、SDGsの推進、脱炭素社会実現への取り組み、DXの推進の4つの視点を軸に、基金を積み増し、安定した区民サービスの向上を目指す予算編成を高く評価し、区議会公明党として、令和4年度江戸川区一般会計予算と各特別会計予算に賛成する。

【主な要望】

- 相談業務へのAI支援システムの全庁的な導入により、更なる区民サービスの向上を。
- 幅広い世代にSDGsの行動を促す効果的な周知と啓発を。
- 心のバリアフリーをはじめ、共生社会実現への確かな取り組みを。
- 船堀駅周辺地区高台まちづくりについて、地元地域の声もしっかり生かしていくこと。
- 避難所となる公営住宅について、既存の防災備蓄倉庫を水害時に浸水しない場所へ、集会所を高層階へそれぞれ設置する検討を。
- 貯水併設型と水洗式の画期的なマンホールトイレの更なる設置推進と防犯上の配慮を。
- 男女共同参画推進計画について、区が手本となるよう区の審議会等の女性委員の比率向上に努めていくこと。
- 上一色のコミュニティ交通について、本格運行時にはシルバーパスが利用できるようにするとともに、他の交通不便地域でも検討を。
- 2000年基準まで対象を拡充した木造住宅の耐震助成事業の着実な推進を。
- 区立公園内に、受動喫煙防止の協力をお願いするステッカーの整備を。
- 東部交通公園で行うゼロ・エミッション・パークについて、利用者が気候変動対策も学べる場とするとともに、他の地域への展開も行うこと。
- 学校図書館については、サテライトの推進と蔵書管理システムの早期の全校導入を。
- 共有プラザで展開するユースサポートの全館展開を早期に進め、不登校対策としての居場所づくりの充実を。
- 水耕栽培については、産業振興、地域振興の面からも研究を。



水耕栽培について

- 避難行動要支援者の模擬避難訓練の検討を。
- 仕事と介護の両立を目指し、介護者及び事業者支援の徹底を。
- 重度障がい者を受け入れるグループホームについて、受け入れ先の更なる拡充を。
- ひきこもり対策として実態調査をもとに、居場所づくりやピアサポート、全庁を挙げてあらゆる機関との連携強化と相談体制の確立を。
- 医療的ケア児の受け入れについて、安全第一に万全な体制を進めること。
- 高校3年生までの医療費無償化実現に向け、前向きな検討を。
- 新たなSNS相談の活用で、児童虐待防止の

更なる強化を。

- がん検診の受診率の更なる向上と、AYA世代の在宅療養支援事業の更なる対象者拡充及び、アピアランス支援の導入を。
- 帯状疱疹のワクチン予防費用助成の検討を。
- 3歳児健診での屈折検査の導入により、早期の精密検査や治療、視力の回復へと繋げること。
- 自殺対策について、NPO法人ライフリンクや関係者との連携を密にして推進すること。
- 私道排水設備改築助成金について、助成率の増加や条件緩和等、使いやすい事業の構築を。
- 長期休業中のすすくすくスクールの開始時間を午前8時に早めること。
- 教員の働き方改革の更なる推進を。
- GIGAスクールのタブレットにより、学校に来られない児童・生徒へのオンライン授業を広げるとともに、一人ひとりに最適化された学習の実現を。
- ヤングケアラーの支援について、中学生の実態調査の早期実施と、確実に支援が届く仕組みづくりに、全庁を挙げて取り組むこと。
- スクールソーシャルワーカーを軸とした機動的な支援体制の構築と個票システムを子どもの実態把握として不登校改善に活用できるよう見直しを。
- 口腔ケア健診の受診者の増加を図り、口腔機能維持のために最善の方法を検討すること。

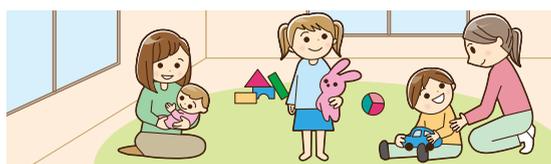
江戸川クラブ

賛成

区民生活に明るさと賑わいを取り戻し、江戸川区が未来へ向かっていくために必要なチャレンジする予算案を高く評価し、令和4年度一般会計及び各特別会計予算案に賛成する。

【主な要望】

- 公用車・庁用車を燃料電池車・ハイブリット車へ転換し、ドライブレコーダーの搭載を。
- 子ども会だけでなく、ジュニアリーダーの存在を広く知ってもらう機会を作ること。
- 消費者センターが率先して、身近な物の誤った使い方や事故の事例を発信し、子どもたちの事故防止のため、より一層の啓発活動を。
- 大手企業や新興企業等、区内産業の強い分野を更に伸ばす取り組みを。
- 今後の感染爆発に備え、万全の対応ができるようスタッフ体制を構築すべき。
- 産後ケアについて、死産された方も含め、幅広く制度を周知していく必要がある。
- 多胎児家庭の移動支援について、オンラインでの面談も選択肢に入れる等の工夫を。
- 地域猫の避妊・去勢について、保護活動をしているボランティアスタッフの意見を取り入れ、より使いやすい制度に。
- 発達相談・支援センターにおいて、保護者同士が繋がることのできる機会の構築を。
- 保育ママ制度について、時短勤務を希望する保護者への配慮と、保育園のように求職中でも預けられる仕組みを。



保育ママ制度について

- 実態調査を実施した上で、住宅条例の規制緩和を決断した区を最大限評価する。

- 本区の違法建築物への指導事業が全国に先駆けたモデルとなることを期待する。
- 区立小中学校の学力を東京都平均水準以上に確保し、公正で質の高い教育を希望する。
- 「中学校英語スピーキングテスト」について、授業の中で十分な対策の実施を。
- 上小岩遺跡の出土品を本区で保管・展示し、区民が気軽に見学できるように。
- 学童保育の開始時刻を8時に早めること。
- PTAの存在意義や正しい理解の普及のため、保護者に対し積極的な働きかけを。

日本共産党

反対

新年度予算案には、低所得者へのエアコン設置補助をはじめ、SDGsの目標に即した貴重な施策が盛り込まれているが、区政の基本問題について重要な問題点があり、令和4年度一般会計予算・各特別会計予算に反対する。

【主な反対理由】

- 児童育成手当・児童障害育成手当について、最も困難なシングルマザー等を援助する財源の一部が25年間削られていたこと。国の現金10万円給付の対象外世帯への区独自の給付について、「総合的に判断」と顧みなかったこと。「生活保護は恥」というスティグマの軽減が必要であり、多面的に周知するべき。
- 北小岩と上篠崎で地盤強度不足が生じたことをはじめとして、スーパー堤防と区画整理による一体のまちづくりは、関係住民への負担があまりにも大きい。そもそも見通しのない公共事業である高規格堤防事業と一体に、まちづくりを進めるのはやめるべき。
- 国に消費税の減税を求める考えはないとしたこと。また、利用料・使用料の消費税転嫁をやめるべき。マイナンバー制度の狙いは社会保障の給付削減にあり、マイナンバーカードはやめるべき。羽田新ルートの中止を国に求めず、機能強化は必要という姿勢を変えないこと。騒音対策としての住宅改修助成を検討しないこと。墨東病院は、独法化せずに直営を守るべき。
- 教職員の働き方改革を進めるには、抜本的な教職員定数の改善が必要。補習教室は、小学校1年生だけでも直接雇用の講師が担当すべき。特別支援教室の拠点校（14校）への区費講師の配置を行わないとする姿勢。給食費補助の提案を受け入れなかったこと。学校図書館司書は、最低でも週1日の配置と、専門性・継続性・直接雇用を求める。



学校図書館司書の配置について

- 子どもの均等割廃止を国に求め、必要な法定外繰入を行い、払える国保料への引き下げを。
- 介護職員の賃金は全産業平均並みとし、専門職にふさわしい水準に引き上げるべき。
- 高齢者だけを切り離し、窓口2割など負担を増やす後期高齢者医療制度は廃止するべき。

生活者ネットワーク

賛成

高齢者や生活困窮者への支援に加え、子育て・

子育て関連事業、心のバリアフリーのための事業等、共生社会に向けての取り組みに鑑み、令和4年度予算案に賛成する。

【主な要望】

- 区の公共施設全体のZEB化を図ること。
- 「気候変動適応センター」を開かれたセンターとし、議事録の公表等を行うこと。
- 子宮頸がんについて、引き続き検診の勧奨を行うとともに、ワクチン接種による副反応被害があることを文書で知らせること。



子宮頸がん検診について

- 社会的養護の下で暮らす子どもたちの住まいに関する支援についても検討を。
- 上篠崎のスーパー堤防事業において、アーチャーレー等の被覆型堤防の採用等、他の工法の検討を国に要請すること。
- 改築校に加え、既存校でも再生可能エネルギーの発電能力と蓄電能力を上げること。

えどがわ区民の会

賛成

区民生活・区内経済のコロナ禍からの回復と更なる発展に向けた、過去最高額となる積極的な令和4年度予算案に賛成する。

【主な要望】

- ダンボールベッドは、十分な数量の確保や保管スペース等に課題があるため、他の製品も併用して防災グッズの確保を。



防災グッズの確保について

- スポーツ施設にも文化・芸術に触れる機会を設けるべく、エントランスフロア等の効果的な空間利用の研究を。
- 区内各所に公園ピオトープの整備を。
- 若い世代に向け、がん検診の周知・啓発を。
- 介護人材確保に向け、より多くの方が介護業界に夢と希望を持って入れるよう環境整備を。
- 春江橋架け替え工事について、住民説明会の実施等、地域に対し積極的な情報発信を。
- 学校介助員の人材確保と併せて、研修の実施等による質の確保も引き続き進めること。

無所属

賛成

令和4年度一般会計予算案、介護保険事業及び後期高齢者医療特別会計予算案に賛成する。

【主な要望】

- 「地方再犯防止推進計画」の策定開始と命を守るための実質的な事業を進めること。
- すべての学校・教室・教科でオンライン配信ができるよう、タブレット端末配備を含め、ハード・ソフト両面の充実を。
- 災害時区施設アスベストの考え方の整理を。

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果	
区 長 提 出 議 案	予 算	令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第11号)	可決
		令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第12号)	
		令和3年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
		令和3年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	
		令和3年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	
	条 例	江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会づくり条例	
		職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
		幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
		江戸川区角野栄子児童文学館条例	
		江戸川区角野栄子児童文学館基金条例	
		江戸川区スポーツ夢基金条例の一部を改正する条例	
		江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
		江戸川区沿道区域指定の基準に関する条例	
		江戸川区有通路条例の一部を改正する条例	
		江戸川区「特別区道」道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	
江戸川区公共溝渠管理条例の一部を改正する条例			
江戸川区新川さくら館条例の一部を改正する条例			

件名		結果	
区 長 提 出 議 案	契 約	(仮称)江戸川区角野栄子児童文学館展示製作業務委託請負契約	可決
		水門耐震工事(新左近川水門)請負契約の変更について	
	そ の 他	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	
		債権の放棄について(19件)	
同 意	江戸川区教育委員会教育長の任命同意について	同意	
	江戸川区教育委員会委員の任命同意について		
議 員 提 出 議 案	江戸川区議会会議規則の一部を改正する規則		可決
	江戸川区議会委員会条例の一部を改正する条例		
	ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議		
	江戸川区インターネット健全利用促進条例		修正可決
	デフリンピック東京開催を求める意見書		可決
請願・陳情	99号	デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する陳情	採択

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く

件名	自民	公明	江ク	共産	生ネ	区民	無所属(50音順)		結果	
	14人※1	11人	4人	4人	2人	2人	1人	1人		
区 長 提 出 議 案	予 算	令和4年度江戸川区一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
		令和4年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	
		令和4年度江戸川区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	
		令和4年度江戸川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	
		令和4年度江戸川区一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	×	
		令和4年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	×	
条 例	江戸川区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	○	×		
	江戸川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×		
	江戸川区立児童遊園設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	×		
	江戸川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×		
そ の 他	特別区道の路線廃止について	○	○	○	×	×	○	○		
	特別区道の路線認定について	○	○	○	×	×	○	○		

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
101号	対外的情報省を設立し、横田空域の返還を求める意見書を防衛省に提出に関する陳情	総務委員会 参考送付
102号	対外的情報省の設立を求める意見書を江戸川区議会は内閣府に提出することに関する陳情	総務委員会 参考送付
103号	江戸川区議会議員の定数削減に関する陳情	議会運営委員会
104号	江戸川区議会議員の議員報酬削減に関する陳情	議会運営委員会
105号	日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会
106号	シルバー人材センター会員の新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業・減収の補償を求める陳情	福祉健康委員会
107号	5歳から11歳への新型コロナウイルスワクチン接種体制に関する陳情	福祉健康委員会
108号	「中国政府に対して人権状況改善を促し、日本政府と国会に対して必要な外交措置と人道的措置等を求める意見書」の提出に関する陳情	総務委員会 参考送付

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、生ネ…生活者ネットワーク、区民…えどがわ区民の会
無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています。

令和4年度 予算編成4つのポイント

- 1 ポストコロナへの対応(感染拡大防止の徹底)
- 2 SDGsの推進(共生社会の実現)
- 3 脱炭素社会への取組(温暖化対策・気候変動適応対策の強化)
- 4 DXの推進(区民サービスの向上と企業のDX推進)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



《SDGsに基づく主な新規・拡充事業》

1 貧困をなくそう 介護離職をなくそうプロジェクト!(新) 14万9千円	10 人や国の不平等をなくそう 遠隔手話サービスの導入(拡) 30万5千円
3 すべての人に健康と福祉を 篠崎児童発達支援センターの開設(新) 2億187万3千円 自殺未遂者支援事業の強化(拡) 1,622万2千円	11 住み続けられるまちづくりを 船堀駅周辺高台まちづくりの推進(拡) 1,892万円 春江橋架替事業(新) 3億2,592万8千円
4 質の高い教育をみんなに 保育ママへの午睡チェック用ベビーセンサー導入(新) 1,967万6千円 学校施設の改築(拡) 132億4,873万7千円	12 つくる責任 つかう責任 食品マッチングアプリの導入(新) 127万6千円
5 ジェンダー平等を実現しよう 人権・男女共同参画啓発事業委託(拡) 2,101万円	13 気候変動に具体的な対策を えどがわゼロ・エミッション・パーク(新) 1億9,728万4千円
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 庁用車への次世代車導入(新) 1,118万9千円	15 陸の豊かさも守ろう 農福連携事業の推進について(新) 6万7千円
8 働きがいも経済成長も 重度障害者に対するグループホームへの助成(新) 273万9千円	16 平和と公正をすべての人に ヤングケアラー支援事業(新) 396万6千円 マイナンバー制度による電子申請の推進(拡) 5,343万2千円
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 区内事業者への産業実態アンケート調査(新) 475万2千円 相談業務へのAI支援システム導入による業務改善(拡) 1億3,619万1千円	17 パートナーシップで目標を達成しよう ネーミングライツの導入(新) 4万円 全庁的なDX推進体制の構築(拡) 7,148万円

総務委員会 主な議案審査内容

○令和3年度江戸川区一般会計補正予算(第12号)

・文化共育費

委員より、今回増額補正する指定管理負担金の内容について質問があり、執行部より、新型コロナウイルス感染症の影響による減収分を補填するものであるとの答弁があった。

これに対し、委員より、新型コロナウイルスによる影響は、自然災害的な影響である。施設の清掃や駐車場管理、警備等を行っている下請け事業者のことも考慮し、適正な対価を支払い、今後もしっかりと施設の運営が行われるよう、管理・監督することが要望された。

○江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会づくり条例

委員より、本条例の概要と今後の取り組みについて質問があり、執行部より、誰もが性別等の違いを超えて、多様な個人として尊重され、自らの意思によって、その個性と能力を十分に発揮し、自分らしく生きることのできる社会を実現するため、本条例を制定する。今後は、江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会推進会議を設置し、男女共同参画推進計画の進捗状況の評価や将来の計画作成等について議論をしていくとの答弁があった。

これに対し、委員より、意識改革を促す実効性のある手法を検討し、周知啓発を行っていくこと。「性の平等」という表現に対する解釈が誤解されないよう、条例の趣旨をわかりやすく丁寧に説明していくことが要望された。

令和4年第1回臨時会開催予定

5月27日(金)……本会議

令和4年第2回定例会開催予定

6月15日(水)……本会議(議案上程、委員会付託)

20日(月)……本会議(一般質問)

21日(火)……本会議(一般質問)

23日(木)……常任委員会(議案審査)

24日(金)……各常任委員会(請願・陳情等の審査)

30日(木)……本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時または午後1時30分開会予定です。詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎高木ひでたか ○竹内すすむ
岩田まさかず 小俣のり子